

日 程	概 容
<p>企画展</p> <p>4 / 27 (土) ～ 6 / 23 (日)</p>	<p>ひだの地質紀行 ーようこそ 自然豊かな飛驒の大地へー</p> <p>岐阜県北部の飛驒地方は、日本最古の化石や恐竜の化石、国内最古級の岩石などが発見された地域であり、まさに日本列島の骨格となる大地が広がる地域です。北アルプスの山々が連なる豊かな自然は、様々な生物や人々の暮らしに恩恵をもたらしています。</p> <p>本展では、この自然豊かな飛驒地方の大地の姿を当館が所蔵する標本を中心に展示し、飛驒地方のすばらしい大自然を紹介します。</p>
<p>博物館・図書館 連携企画展 【会場：県図書館】</p> <p>4 / 27 (土) ～ 6 / 19 (水)</p>	<p>岐阜の山城調査 ーフィールドワークの魅力ー</p> <p>山中に残る山城跡及び平地の館跡などの城館跡は、地域の歴史を物語る重要な文化財です。岐阜県内に800か所以上も確認されている城館跡は、山城の堀や曲輪、土塁などの施設が地表面で観察できることから、興味があれば誰もが研究者となりうる身近な研究対象といえます。</p> <p>本展では、平成8年度から16年度にわたって岐阜県教育委員会が行った「岐阜県中世城館跡総合調査」などの成果を展示しながら、山城調査の意義や魅力を紹介します。</p>
<p>移動展 【会場：飛驒高山 まちの博物館】</p> <p>6 / 29 (土) ～ 8 / 25 (日)</p>	<p>ヒアリがやってくる ー外来生物とはなにものかー</p> <p>岐阜県は、地域によって気候や地形に大きな差があり、飛驒山脈に生息するライチョウや濃尾平野に特有な淡水魚など、多様な生物が見られます。その一方で、アライグマなどの外来生物がふるさとの生物多様性に大きな影響を与えています。</p> <p>今回の移動展では、当館が所蔵する外来生物の剥製等を中心に標本資料を展示することで岐阜県で見られる外来種の現状を知り、ふるさとの豊かな自然が抱える問題を考えます。</p>
<p>特別展</p> <p>7 / 12 (金) ～ 9 / 8 (日)</p>	<p>剣精霊貫白虹 ー幕末美濃の剣豪と名刀ー</p> <p>幕末動乱期、江戸と京の間に位置する美濃には、水戸天狗党や東山道鎮撫隊、和宮降嫁の往来があり、一党が敵味方に分かれる郡上・凌霜隊や高須四兄弟の悲劇がありました。</p> <p>新撰組・近藤勇を斬首した旗本岡田家剣術指南役・横倉喜三次を中心に、幕末美濃の群像を取り上げ、併せて、幕末から明治期の新々刀を紹介します。この時代の名工・源清麿や美濃の御勝山永貞の名刀を出品します。</p>
<p>【令和改元記念事業】特別展</p> <p>9 / 20 (金) ～ 11 / 17 (日)</p>	<p>岐阜は日本のど真ん中 ー岐阜県植物誌は語るー</p> <p>令和元年の今夏、平成時代のおよそ20年の歳月を費やした「岐阜県植物誌」が発刊されました。当館所蔵資料を中心におよそ13万点もの植物標本を用いた調査研究が進められ、完成したこの「岐阜県植物誌」には、種ごとの検索表、全種の分布図、代表的な植物の植物画の紹介があり、全国に誇る質の高い植物誌です。</p> <p>本特別展では、この岐阜県植物誌に示された植物の分布状況を根拠とし、岐阜が「日本のど真ん中」であることを、新たな岐阜の魅力として紹介します。</p>
<p>企画展</p> <p>11 / 23 (土・祝) ～ 1 / 26 (日)</p>	<p>岐阜の城館探訪 ー城が語る郷土の歴史ー</p> <p>お城は歴史的出来事の舞台であり、地域の歴史を語る証人です。現在も地域のシンボリックな役割を担っているものも少なくありません。岐阜県内には800か所もの城館跡があり、各地で発掘調査も行われています。</p> <p>本企画展では、県内の特徴的な城館跡について、その調査成果から地域の歴史を見直していきます。</p>
<p>博物館・図書館 連携企画展 【会場：県図書館】</p> <p>1 / 18 (土) ～ 3 / 15 (日)</p>	<p>清流長良川 ー鮎を育む自然と文化ー</p> <p>岐阜県では、長良川流域における人々の生活、水循環、漁業資源が連携する里川のシステムについて、世界にも特殊性があると評価され、平成27年12月に、「清流長良川の鮎（長良川システム）」として、世界農業遺産に登録されました。</p> <p>本展では、長良川の多様な自然のあらまし、鶺鴒などの伝統漁法、水とつながる伝統工芸品を中心に展示し、世界農業遺産に指定された長良川の自然と文化を紹介します。</p>